

2003年(平成15年)7月24日(木曜日)

下総玩具の創始者

松本さんの個展開催支援

地域の芸術家が作品即売会

あす柏

素朴な味わいで人気のある下総玩具の創始者、松本節太郎さん。写真、柏市根戸の「百歳記念展」開催を支援するため、

東葛地域の芸術家たちが力を合わせ「芸術作品即売会」をあす二十五日から、柏駅西口のサ・クレストホテル柏で開く。松本さんは一九〇三(明治三十六)年、東京・下谷の染物屋の四男として生まれる。四十代で

ろまでは職を転々としていたが、一九四五(昭和二十)年に戦災で柏市へ疎開して来たおりに、ちよつとした好奇心から裏山の粘土を使って手びねりで七福神などの人形を作るようにな

り、やがてこれをリュックに詰め上野、浅草、亀戸天神などへ出向き売り始めた。

下総玩具という名はこの時分、お客から「これは何と言う人形か」と聞かれた際に、都内の人たちにも千葉県内で作ったものだと分かるように下総玩具と答えていたことから、この名が浸透するようになった。

松本さんは今年一月に百歳を迎えたが、現在も自宅兼工房で、一つ一つの人形を昔と変わらぬ製法で創作し続け、今年九月にはこれまでの集大成として個展を企画している。

創始者の松本さん



下総玩具の一例

松本さんの個展開催を支援しようというもので、木版画の大野隆司さん(柏市)、日本画の千葉照子さん(松戸市)ら東葛地域を拠点に活動しているさまざまなジャンルの作家たちの作品など約二百点が展示、即売され、松本さんの作品も三十、四十点ほど展示される。会期は二十八日まで、開催時間は午前十一時から午後七時。期間中は地元画廊スタッフによる絵画鑑定なども行われる。問い合わせはギャラリー・ヌーベル(☎04-7146-6800)まで。